

こんにちは！インドネシアカフェです (自主研究グループ活動報告)



久喜市自主研究グループ「インドネシアカフェ」代表
久喜市介護福祉課 北川 昇

1 はじめに

私たちは、久喜市自主研究グループ「インドネシアカフェ」です。平成24年1月から「面白くて、ためになる」をスローガンに活動を開始し、現在丸2年となります。特に単一のテーマを研究しているわけではなく、ワイワイガヤガヤと緩い感じで活動しています。

今回は、活動を始めたきっかけや活動内容など、私たちの活動について皆さんにご紹介したいと思います。

2 なぜ「インドネシアカフェ」なのか？

私たちが自己紹介をすると、必ず「なぜ『インドネシアカフェ』という名前なの？」という質問をいただきます。そこで、グループの名前の由来と活動を始めたきっかけについてご紹介します。

インドネシアカフェの活動を始めたきっかけは、職員同士の交流の場が欲しいという若手職員の声でした。

平成22年に久喜市の総合窓口の職員3人で活動した自主研究グループ「進化型総合窓口研究会」の研究成果を若手職員に向けてプレゼンしたところ、「市役所の中にはいろいろな得意分野を持っている人がいるはずなのに、業務時間内ではそういう情報が得られない。職員同士がお互いを知り合う場があれば、そこで出来たネットワークを仕事にも活かせるのではないか。」という意見が出たのです。

この意見を出した職員が、平成23年の夏にインドネシアへのフィールドワーク型短期留学に参加し、

その報告会をしたいということで、周りの職員に声がけをしたところ、20人ほどの職員が集まりました。この報告会で、今後も定期的に職員が集まれる場を設けたほうがいいかという問いかけをしたところ、多くの賛同を得たため、グループを作ることになったのです。

グループの名前を考えようとなったとき、この報告会からインドネシアという言葉だけを頂き、カフェスタイルの参加しやすい活動をしていくということで「インドネシアカフェ」という名前にしたというわけです。



進化型総合窓口研究会プレゼンの様子

3 活動内容 = ナビゲート

集まれる場を設けようといっても、何もなくてただ「集まって！」と呼びかけてもなかなか職員は集まらないものです。

そこで、毎回テーマを設定し、職務などに役立つ情報を提供したり、ワークショップなどをやっていくのがいいだろうということになりました。

私たちは、毎回の会合のことを「ナビゲート」と呼んでいます。講師とかファシリテーターに当たる

役割は「ナビゲーター」と呼びます。「講義、教育」といった参加しにくくなるイメージを持たれないように、テーマについて詳しい人の案内で進んでいこうという意味合いを持たせています。

ナビゲートは月1回、庁舎内の厚生室と呼ばれる16畳ほどの畳敷きのフリースペースで開催しています。ナビゲートごとにチラシを作り、庁内掲示板と口コミで参加者を募集し、1回のナビゲートで平均15～20人の職員が参加しています。

私たちの活動で特徴的なのは、メンバーを登録制にせず、自由に参加できるスタイルにしていることです。人の出入りを活発にして刺激を受けるため、それから「参加しなければ」という強迫観念を生まないようにするためです。また、参加費用は基本的に無料であり、年会費等も集めていません。その中でできることをやっといこうというスタンスで活動しています。



ナビゲートの様子

ナビゲートの内容は、基本的に「職務内ではなかなか身につけることができないが、これからの公務員にとって必要となると思われる、知っている、使えど役に立つ知識やスキルをみんなで楽しく共有する」というコンセプトで、参加者の意見も聞きながらチョイスしています。たとえば、接遇などのコミュニケーションスキル、プレゼンテーション力などは、やり方を知っていても実際にやってみないと身につかないものですが、これを実践的に試せる場

としてナビゲートに組み込んでいます。また、企画力、PR力、発想力などの分野も、現状の職場環境ではなかなか伸ばしにくい能力ですが、見本がないところで変化に柔軟に対応するという分権時代の公務員としてはぜひスキルアップしたいところです。こういった観点から、時には職員自身がナビゲーターとなり、時には外部の方を招いてお話いただくなどし、また講義形式、パネリスト形式、トークバトル形式、ワークショップ形式など、テーマに合った柔軟なナビゲートを心がけて企画し実施しています。また、そもそも「楽しいこと」はどの回でも追求しています。



「案内に使える英語表現」を考えています

4 静岡県静岡市への視察

～目標ができました～

素朴な動機から「場」作りを最初の目標として始まったインドネシアカフェですが、次第にナビゲートそのものによるスキルアップのみではなく、ナビゲートを準備することが企画力、段取り力、イベント構成力などのトレーニングになり、またナビゲーターとなることがナビゲートする内容をより深く理解することに繋がったり、説明力、プレゼンテーション力、ファシリテーション力などをアップさせる効果があることがわかってきました。

そうしたところ、新聞記事で静岡県静岡市の「夜間講座」のことを知りました。静岡市では、人事課

主催の夜間講座の内容を一般職員から提案募集し、選ばれたテーマの回は提案者自身が講師の手配から会場設営まですべて取り仕切って企画運営するという、職員の自主性を最大限に発揮しようという仕組みが取り入れられていました。メンバーがとても興味を持ったので、平成24年10月に静岡市の夜間講座を自主研究グループとして視察することになりました(実は、この時点で初めて本市の自主研究グループとしての登録をしたのです)。

静岡市では、さらに驚くべき状況がありました。夜間講座の提案は個人だけではなく自主研究グループでもできますが、この夜間講座の企画の提案をメインの活動としている「フラット会」という自主研究グループがあるのです。視察では、このフラット会の企画した「メンタリング講座」を受講し、その運営のしかたなどを見学してきました。きちんと企画会議を行って正面から外部講師を依頼し、120人ほどの参加者を集めて実施されていました。



「フラット会」企画の静岡市夜間講座の様子

職員の自主性を援助することで能力開発をしようという人事課のコンセプト、意欲的な職員が集まってどんどんアイデアを出し実現していく自主研究グループの活動がうまくかみ合い、静岡市の職員のみなさんはとても元気があり、活性化しているという印象を強く受けました。

考えてみれば、私たちのナビゲートはまさしく自主研修といえる内容を持っていました。静岡市の視

察で、インドネシアカフェの運営の方向性は間違っていなかったと自信をつけるとともに、外部講師などもっと職員を刺激するナビゲートを企画実現することで、楽しく、面白くみんなで成長していきたいという気持ちを強く持ちました。講座後にはフラット会のみなさんとも交流して、視察したメンバー全員がポジティブな気持ちをいただいて帰ることができ、非常に実りの多い視察となりました。今でも、「フラット会」の方々とは交流が続いており、このときの出会いに感謝しています。



静岡市の皆さん、お世話になりました！

5 埼玉県政策研究交流大会に参加

～プレゼン漬けの日々～

私たちの普段の活動や静岡市で得てきたことを発表しようと、平成25年2月に彩の国さいたまづくり広域連合主催の埼玉県政策研究交流大会に参加しました。

政策研究ということ自体はインドネシアカフェが活動内容として意識してやっていることではありませんが、人前でできるだけ多く発表の機会を作ることが自分たちのプレゼン能力の向上に繋がると思い、参加することにしました。

「改革的な職員を育成するための効果的な自主研修のあり方について」というテーマで3名のプレゼンターで臨みました。内容は、業務量が多くなってきたことから職場内での能力開発に限界があ

り、職場外での自主的な能力開発の取り組みが必要な時代になってきているということ、静岡市の視察レポート、自主研修の将来像、インドネシアカフェ活動報告といった構成で発表させていただきました。

結果、「こういった仕組みで組織外で立案段階の政策を検討し、組織への政策提案につなげることもできるので、いいスタイルだ」との講評もいただき、プレゼンテーションの感想をプレゼン団体にメッセージとして送る「交流カード」にも、「自分たちの自治体でも自主研究グループをやってみよう」などの感想があり、意外にも好意的な意見を多数いただくことができ、私たちの活動にとって大きな励みになりました。



緊張しましたがなんとか発表できました

6 ゆるキャラグッズ開発会議

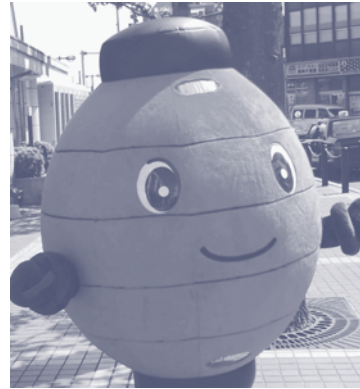
～町へ飛び出しているいろいろやってみよう～

平成25年度に入ると、「アイデアファクトリー」というアイデア出しのナビゲートをたびたび行うようになりました。

その中で、久喜市のゆるキャラがあまり元気がない、みんなで盛り上げていこうということで、「どうすりゃなれる？ゆるキャラ王」と題したナビゲートを実施しました。全職員1000人を渋谷に動員してゆるキャラのTシャツを着てフラッシュモブを行うなどの面白いアイデアが出ました。

それを持って久喜市観光協会を訪れ、私たちに何

かゆるキャラの売り出しについてアイデア出しをさせて欲しいと言ったところ、ゆるキャラサミットで配布する無料グッズや、販売する有料のグッズについて知恵を貸して欲しいというお話をいただきました。



久喜市商工会キャラクター「来久 (like) ちゃん」

そこでまず、ゆるキャラが世間でどのように受け止められているかを肌で感じるため、インドネシアカフェのメンバーで実際に久喜市商工会キャラクターの「来久 (like) ちゃん」の着ぐるみに入って、久喜市で毎年7月に行われる「久喜提灯祭り」に参加しました。意外と女性や子ども、お年寄りが興味を持ってきて、やはり人気を上げるには露出を増やしないとダメだということになりました。

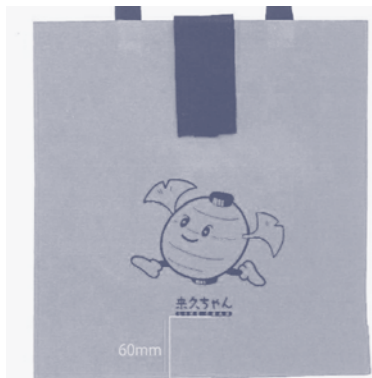


着ぐるみに入りました。暑かった！！

それを受け、さらに商工会や観光協会の方を招いて「ゆるキャラグッズ開発会議」と題してアイデア出しのナビゲートを行い、出てきたアイデアについ

て久喜市の職員内でもアンケートを実施しました。その結果、人気のあった「エコバッグ」を無料グッズとして作成することとなり、実際に平成25年11月に行われたゆるキャラサミットにおいて配布しました。

小さいことかもしれませんが、私たちのアイデアが市役所の外で現実に形になったのは、とてもうれしいことでした。また、実際に商工会や観光協会の方との繋がりもでき、ネットワークが広がるという成果もありました。



可愛いエコバッグができました！

7 スゴい！！オフィス見学

～民間企業の業務カイゼン、企画とは～

ある日、コンビニの書棚に「スゴい！！オフィス見学」という本を見つけました。ページを開くと、素敵なオフィスがたくさん載っています。デザインや色彩だけではなく、非常に機能的なオフィスに見えます。正直、こういうところで働けたらいいなと思いました。

そこで、私たちの職場を少しでも機能的にして効率化を図るために、民間の最先端のオフィスでどのような取り組みが行われているか、その業務カイゼンの手法を学ぼうと、有志でオフィス見学を敢行しました。

訪問したのは、株式会社イトーキです。ここでは、コミュニケーションが生まれる動線にこだわり、コピー機とゴミ箱、自動販売機を1つのスペースに押し込んで、違う目的でそこを訪れた人どうして雑談

が生まれるようにしています。そこから、新たなアイデアが生まれることがあるからです。また、オフィスの中にも健康が保てるよう、さまざまな工夫を凝らしています。このような仕組みを実践し、実際にイトーキの社員の方が働くオフィスをショールームとして見学者に見てもらうという「ワーキング・ショールーム」を開設しています。

見学先では、人間工学の見地から今までオフィスのイスに男女の区別がなかったことに疑問を持ち、女性専用のイスを開発した「オンナノシゴト向上委員会」という社内プロジェクトの方のお話を伺うことができました。大学教授とタッグを組んで開発に臨んだということですが、女性の姿勢や悩みなどをつぶさに研究し、イスに座る姿勢や背もたれの使い方などに男女差のあることを発見し、これを解消するイスを開発したということでした。

オフィスの動線に関しては、いままでお客様のスムーズな動線と職員の効率的な動線の2つしか考えていませんでしたが、コミュニケーションが生まれる動線という概念は考えたことがなく、衝撃を受けました。また、オフィスの改善を探りに行っただけですが、民間の方の優秀なプレゼンを思いがけず聞くこととなり、たいへん得るものが多い見学でした。担当の方の「今は、ものづくりにも『ストーリー』が必要なんです。」という言葉が印象に残りました。民間の会社は、生き残るために必死にいろいろなアイデアを考え、実行に移しています。私たちも見習って、いつも頭をやわらかく、アンテナを高くしておきたいものです。



イトーキの皆さん、ありがとうございました

8 インドネシアカフェ、 これからも元気にがんばります！

このほか、平成25年度には舞台プロデューサーの方を外部講師に招いて企画やマスコミPRの方法、著作権などについて学んだりしました。

また、平成25年11月23日に行われた「第1回関東自主研サミット」にも参加させていただき、多くの自主研究グループの方と繋がることができました。

自主研究グループのいいところは、制約がなく、いろいろな活動スタイルをとることが可能だということです。各自治体によって職場環境はさまざまだと思いますが、職場の課題に対応するよう、自主研究グループがその状況に応じて必要と思われる運営形態を取り、職員がモチベーションを上げて仕事に取り組めるような「場」として機能すると、元気な職員が増えるのではないかと思います。失敗を恐れず色々なことにチャレンジできますし、企画準備を含め活動に関わることで自身が変化に対応できる柔軟

な公務員像に必要な企画力やPR力、コミュニケーション能力などのスキルアップとなるように感じます。また、「自主研究グループに携わると、時間の使い方がとてもうまくなる」という話を聞いたこともあります。

私たちも、まだまだ今後の活動に向けての課題があります。常時参加して企画運営に回れる職員の数はあまり増えていないので、毎月の企画に苦勞している面はあります。これからの私たちの目標は、自分の頭で考え、実際に行動して、その結果を庁内にフィードバックすることで活動の裾野を広げ、元気な職員を増やしていくことです。

これからも、楽しい企画をたくさん考えて、元気に活動していきたいと思えます。他の自治体の方とも繋がって刺激を受けたいと思っていますので、ぜひ私たちの活動にご参加ください。また、他自治体の自主研究グループのお話も伺いたいと考えていますので、お気軽にご連絡ください。一緒に元気になりましょう！

久喜市自主研究グループ「インドネシアカフェ」お問い合わせ先

メールアドレス kitagawa.noboru@city.kuki.lg.jp

フェイスブック <http://www.facebook.com/Indonesiacafe>

インドネシアカフェ 開催ナビゲート一覧
(平成25年12月1日現在)

平成23年度ナビゲート

回	開催日	タイトル
第1回	H24.1.19 (木)	ツイッター講座
第2回	H24.2.8 (水)	語学講座～窓口で明日から使える単語とフレーズを学ぼう！～
第3回	H24.2.22 (水)	ラクラク！サクサク！業務カイゼン
第4回	H24.3.7 (水)	ディズニーに学ぶ ～感動を与える接遇講座～

平成24年度ナビゲート

回	開催日	タイトル
第1回	H24.6.7 (木)	OJTのABC
第2回	H24.7.5 (木)	ポジティブ・シンキングのすすめ
第3回	H24.8.2 (木)	業務カイゼンリターンズ
第4回	H24.9.6 (木)	エゴグラムとコミュニケーションワークショップ ～★自分を知ると、コミュニケーションがより楽しくなる★～
第5回	H24.10.4 (木)	クールな起案の作り方
第6回	H24.11.1 (木)	契約事務の基礎の基礎
第7回	H24.12.6 (木)	ウェルカム・トゥー・クキ・シティ・オフィス ～おこしやす 久喜市役所～
第8回	H25.1.18 (金)	池上影を呼ぼう！～熱意の伝え方～
第9回	H25.2.7 (木)	チームNKKプレゼン＋久喜市農業の現状
第10回	H25.3.7 (木)	アイデアファクトリー第1弾 考えよう！空きスペース有効活用案
第11回	H25.3.25 (月)	検査受検の心構え

平成25年度ナビゲート

回	開催日	タイトル
第1回	H25.4.18 (木)	アイデアファクトリー第2弾 どうすりゃなれる？ゆるキャラ王
第2回	H25.5.29 (水)	人狼ゲーム ～オオカミをさがせ！～
第3回	H25.6.10 (月)	ゆるキャラグッズ開発会議 vol.1
第4回	H25.7.4 (火)	『らき☆すたちおん☆すて』に見る民間企業の企画とPR ～奮け！発想力～ ▼外部講師招聘
第5回	H25.7.18 (木)	来久ちゃんから見える久喜の風景 ～昔くみで久喜提灯祭りに参加しよう！～
第6回	H25.9.5 (木)	久喜市「やります！おもてなしUP」 勝手に連動企画 サービス・マスターズ・クラブ
第7回	H25.9.26 (木)	ゆるキャラグッズ開発会議 vol.2
第8回	H25.11.5 (火)	シティプロモーションを考える
第9回	H25.11.20 (水)	スゴい！！オフィス見学
第10回	H25.12 予定	クールなチラシの作り方
第11回	H26.1 予定	ワーク・ライフ・バランス実践講座 ～「家庭がある」を言い訳にしないために～
第12回	H26.2 予定	「政策課題共同研究」プレ・プレゼン ～久喜市農業の観光資源としての可能性(仮)～
第13回	H26.3 予定	▼外部講師招聘(予定)